

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に広く近畿圏の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2019年 8月 23日 (金)

18:00～19:00 事例発表

19:00～19:30 教育最新事情

プログラム

18:00～18:30 事例発表 1

「わかる」を目指した高校2年生の三角関数の授業
葛城 元 (京都教育大学附属高等学校)

18:30～19:00 事例発表 2

主体的・対話的で深い学びに向けた高学年での算数科指導
伊藤 友輔 (京都市立西陣中央小学校)

19:00～19:30 教育最新事情

算数・数学授業における「対話的」とは何か
黒田恭史 (京都教育大学教育学部数学科)

場所

京都教育大学 藤森キャンパス

1号館 A棟 4階 402教室

対象

小・中・高等学校教員、学生、一般

※参加費無料・事前申し込み不要

問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学教授)
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

第5回
「これからの
算数・数学教育を考える会」